

連載

株式評論家 山本伸一の

兜町スタンダード



アナリストが「お年玉銘柄」をピックアップ！

11月後半からの底打ちムードも一服。再び不透明感を強めてきた外部要因が影響し、前回コラムでも「そろそろ年末特有の『節税対策売り』や機関投資家による『ポジション調整』など、需給面での一時的な逆風も想定しておくべきだろう」としていたように、季節柄の売り圧力も目立っている。

ただ、そろそろ季節柄の売り圧力は消える頃、この需給改善による年末恒例の株式キーワード「掉尾の一振（とうびのいつしん）」の発生期待も高まるタイミングだ。さらに例年、好地合いが確認される「1月」の新年相場に備えて「株を枕に越年」を決め込むのも一手だろう。

そこで弊社では、アナリストが総力を結集し、年内のうちに仕込み、来年の飛躍を先取りする『お年玉銘柄』の選定作業を進めている。さらに年末年始相場から来年のテーマを占う「厳選5銘柄付き緊急市況レポート」として提供することとした。厳選銘柄やレポートに興味を持たれた方は、弊社に直接問い合わせしてほしい。

さて、一月に約2回のペースでお送りした当コラムも年内最終版。今年は国内で未曾有の大災害、海外では信用危機と波乱に見舞われた株式相場だが、来年は「落ち着き」に期待したいところだ。では、株式新聞読者の皆様、良いお年を！